

区立志村小学校・区立志村第四中学校小中一貫型学校改築 基本設計図書

---

令和5年6月

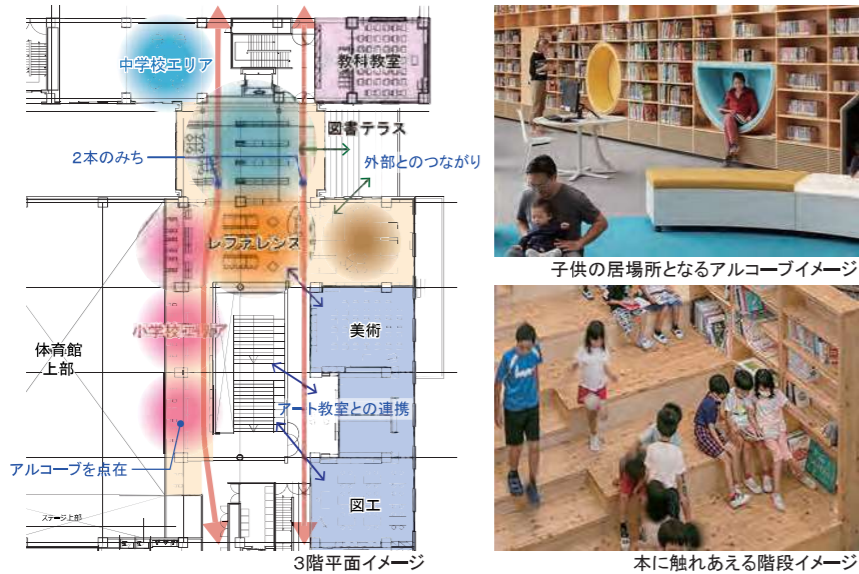
松田平田設計・教育施設研究所 設計共同企業体



南東側から見た鳥瞰イメージ

### 1 小中をつなぐ「本の森」 学校図書館

- ・学校の中心に図書館を計画 : 学校と図書館を2本の道でつなぐ
- ・いつでも本に触れるオープンな図書館 : 様々な本との出会いの場を工夫
- ・教科との連携、移動書架でのサービス : 絵本のまち板橋としてアート教室と連携



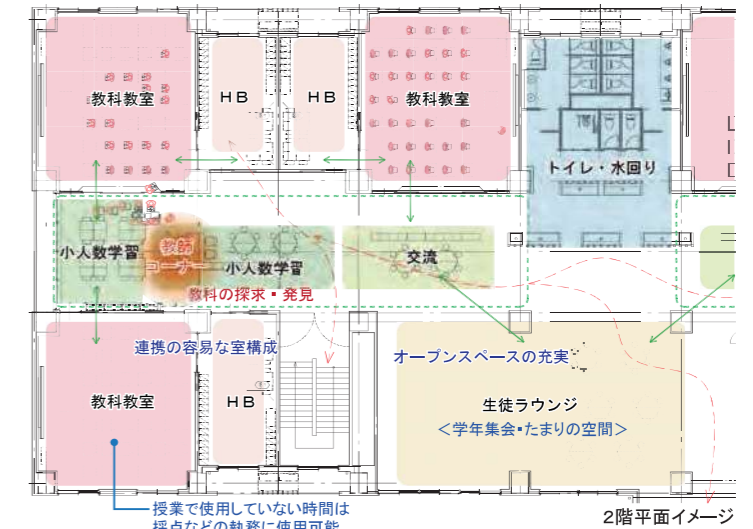
### 2 インクルーシブ教育への展開

- ・通常級や地域とつながる特別支援学級 : ものづくりや運動を通じた交流
- ・情緒障害に配慮した「静と動」のゾーニング : 音に配慮した落ち着いた環境づくり
- ・オールジェンダーに配慮したトイレ : 男女共用個室トイレを複数設置



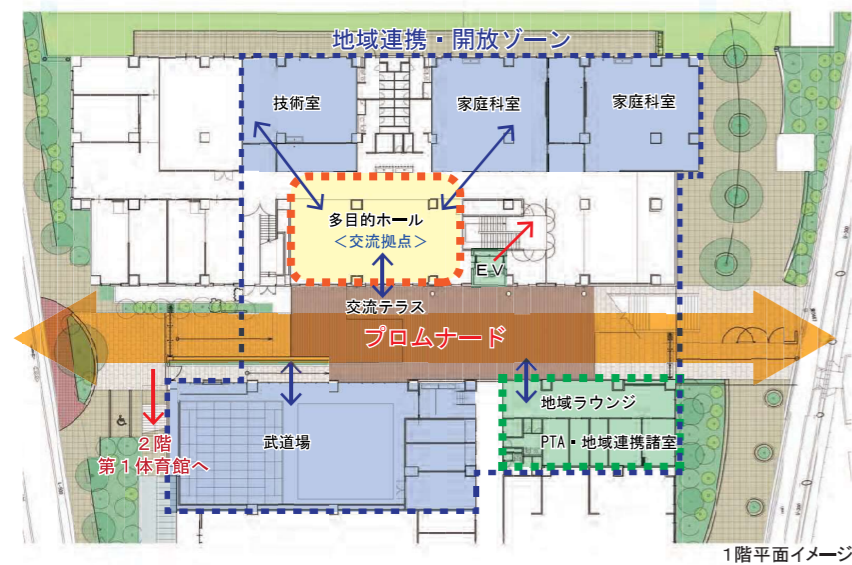
### 3 「主体的な学び」を育む教育空間

- ・教科センターを進化させた中学校舎
- ・学年ごとのオープンスペースの充実
- ・各学年や教科ごとに教師コーナーを配置



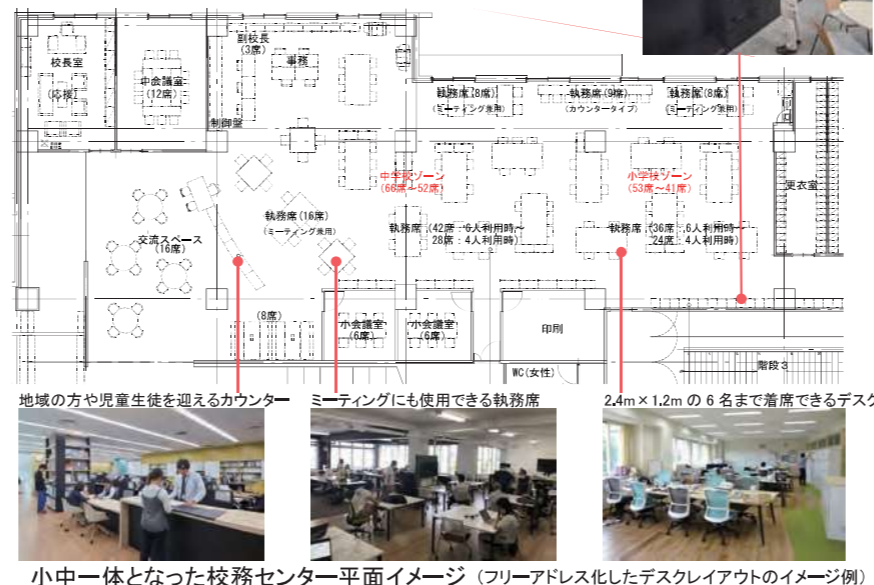
### 4 「地域連携・地域防災」の拠点となるプロムナード

- ・地域開放施設の充実 : プロムナードに面して地域ラウンジ・特別教室を配置
- ・日常のふれあいの場 : 中学生 + 学びのエリアの小学生 + 地域が交流
- ・防災時の拠点、安心できる避難所 : 2階体育館に階段・EVでアクセス



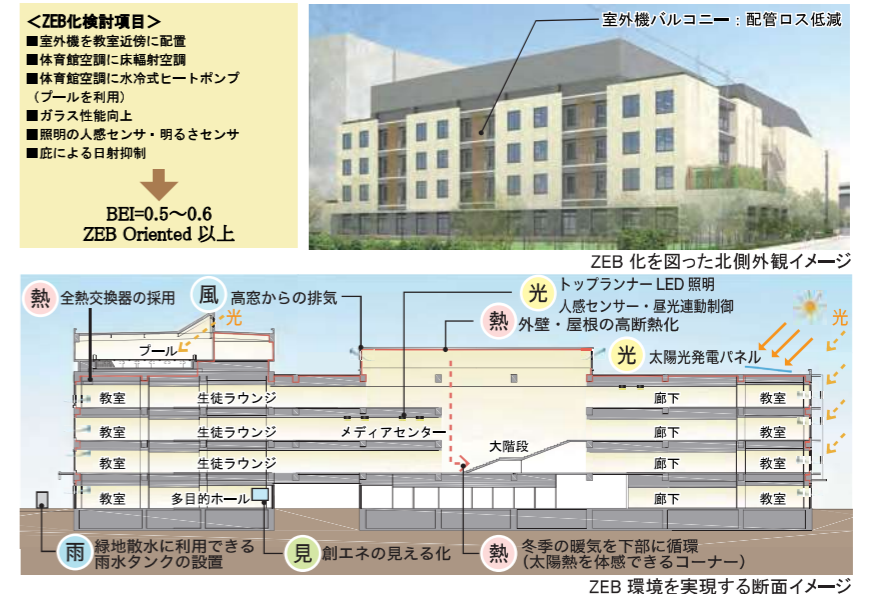
### 5 教職員の活動場所の充実

- ・教職員の2つの拠点「職員室」「教師コーナー」を用意
- ・職員室 フリーアドレスの執務環境と交流空間の充実
- ・教科教室に近い「教師コーナー」で相談/執務/教材作成



### 6 ZEB化と環境教育を両立した校舎

- ・ZEB化を実現する高断熱、低負荷の建築空間
- ・配管ロスを極小化した屋内外の機器配置
- ・分かりやすく自然に学べる環境教育の実現



※今後の行政協議によっては、計画内容に変更が生じる可能性があります。

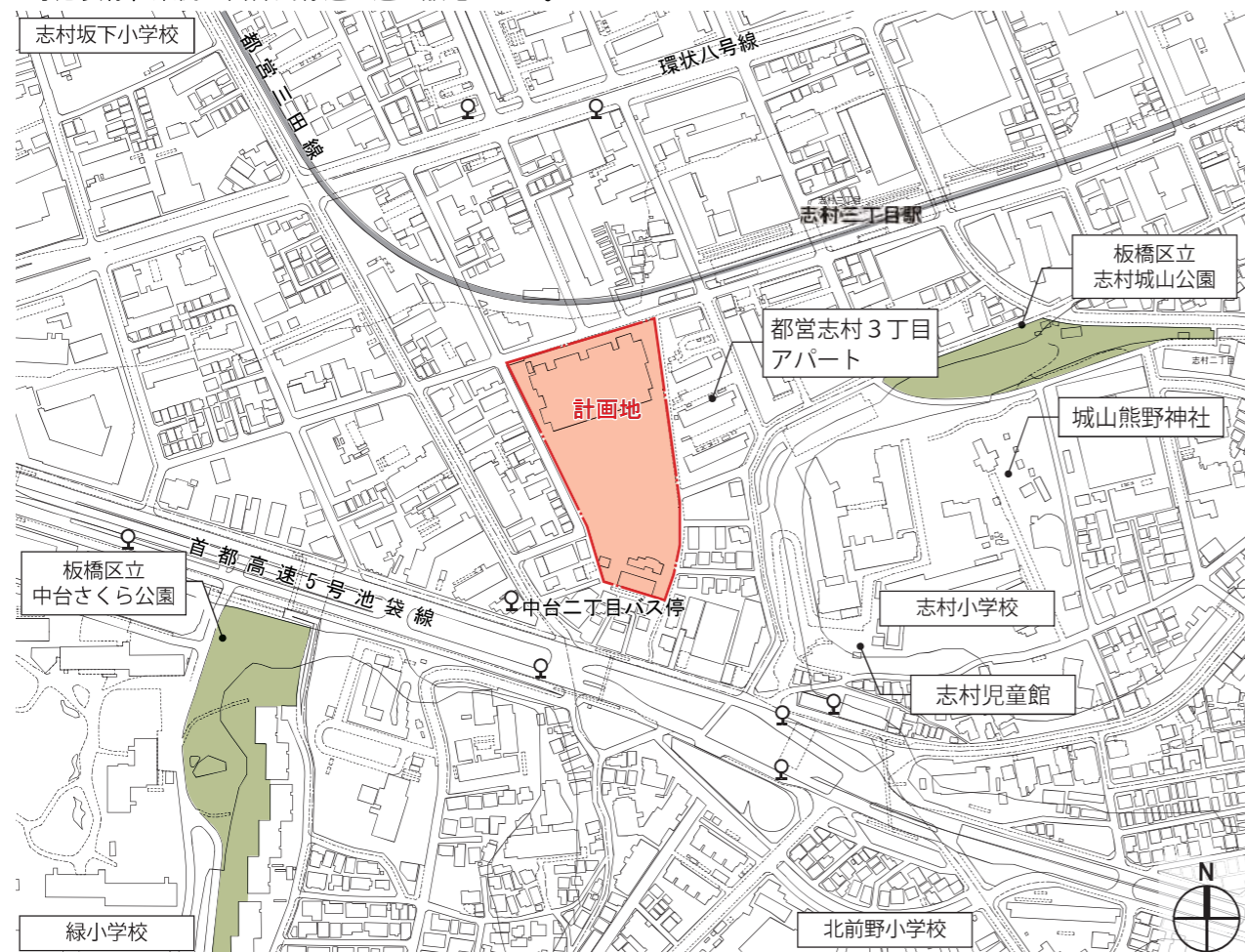
## 【敷地概要】

### 敷地情報

住居表示	東京都板橋区志村3丁目15番1号
地名地番	東京都板橋区志村3丁目33番1号他12筆
都市計画区域	市街化区域
用途地域	第一種住居地域
高度地区	第二種高度地区、最高限度30m
防火地域	準防火地域
景観計画区域	一般地域
日影規制	4h,2.5h/4m
敷地面積	約13,833.04㎡ ※敷地測量中(23.06.19時点)
建蔽率	60%
容積率	200%
絶対高さ	30m以下(地区計画)
道路幅員	北側：区道 認定幅員6m (基準法42項1号道路) 西側：区道 認定幅員6m (基準法42項1号道路) 東側：隣地 出井川緑道(暗渠) 南側：隣地 戸建住宅

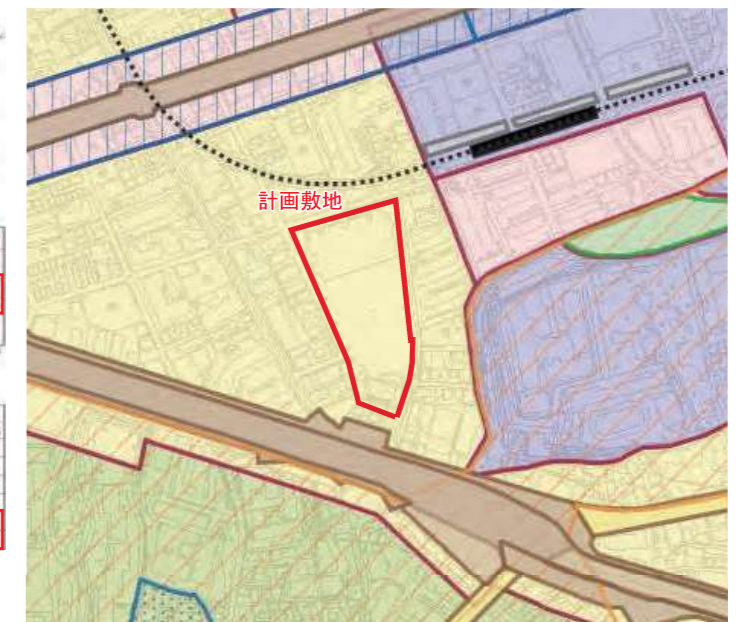
### 敷地周辺情報

計画敷地は都営三田線志村三丁目駅の南側に位置する。敷地北側を東京都道311号環状八号線、南側は首都高速5号池袋線、東側は出井川緑道が通る敷地である。



### 都市計画情報

#### ■都市計画図(Ⅰ)用途地域、建蔽率、容積率、高度地区、防火地域、日影規制など

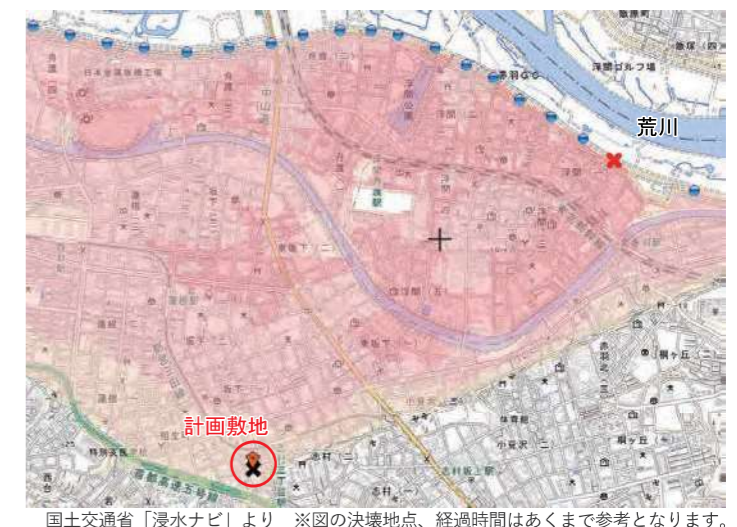


#### ■都市計画図(Ⅱ)都市計画道路、地区計画

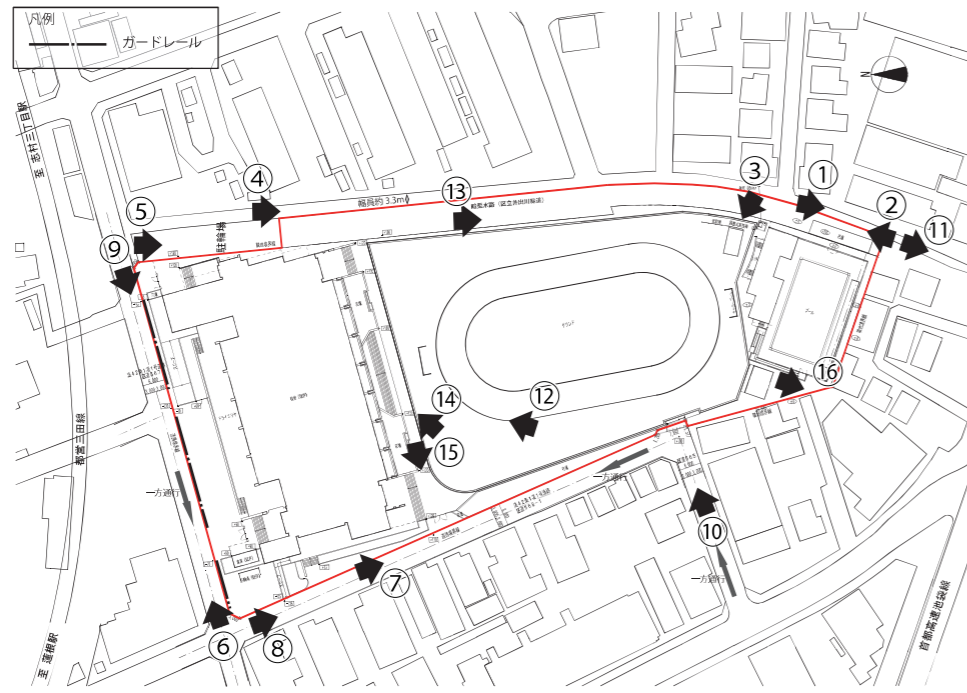


#### 4) 防災条件

計画敷地は、「荒川氾濫時の洪水ハザードマップ」(荒川水系荒川洪水浸水想定区域図H28年版より掲載72時間雨量632mmを想定)では、想定される浸水深さが3~5mである。



【敷地現況】



現況写真キープラン S=1:2000



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



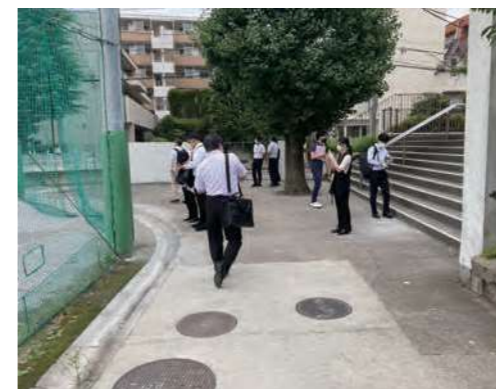
⑫



⑬



⑭



⑮



⑯

## 【建築計画概要】

### 計画概要・配置計画の考え方

#### 1) 計画規模及び既存校舎面積

棟名称	校舎棟			既存校舎 (志村四中)	既存校舎 (志村小)
	(北棟)	(南棟)	計		
高さ	約23.4m	約24.3m	-	-	-
階数	5	5	-	4	3
耐火性能	耐火構造			-	-
構造種別	RC造一部S造			RC造	RC造
基礎	既成コンクリート杭			-	-
建築面積	約1555㎡	約3130㎡	約4685㎡	-	-
建蔽率	約34%			-	-
床面積(㎡)	R階	-	-	98.17	79.47
	5階	860	815	1,675	-
	4階	1,300	2,768	4,068	1,969.65
	3階	1,300	2,047	3,347	1,580.03
	2階	1,300	2,966	4,266	1,793.16
	1階	1,540	2,908	4,448	1,817.81
	地下1階	-	-	-	1,263.76
	合計	6,300	11,504	17,804	8,522.58
容積率	約130%			-	-

※今後の検討・行政協議等により、数値に変更が生じる可能性があります。

#### 2) 配置計画の考え方

##### (1) 通学の安全性や敷地の有効活用に配慮した建物配置

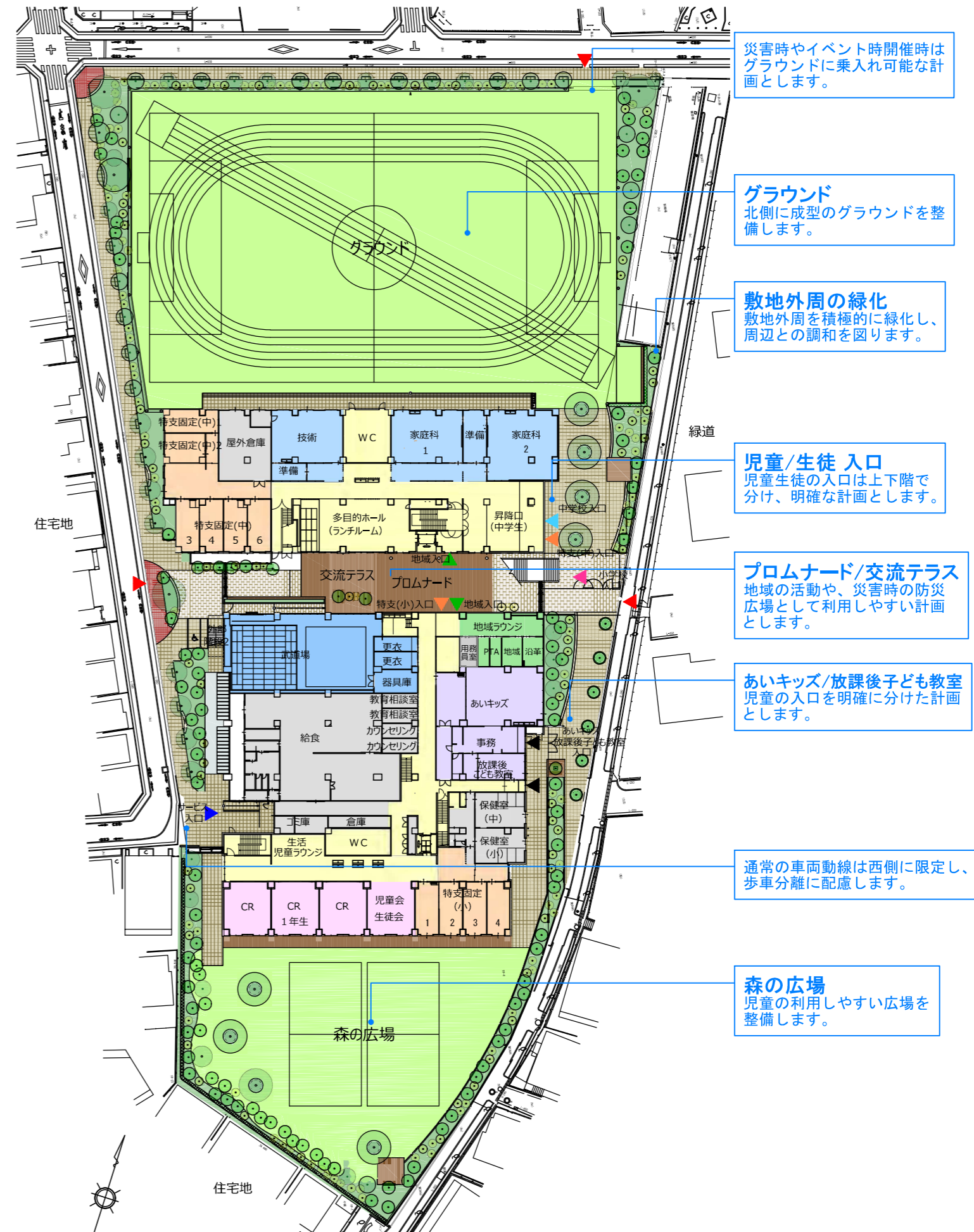
- 敷地中央に校舎を集約して配置することで、北側に整形のグラウンド/南側に森の広場を計画し、敷地の有効活用を図ります。
- 敷地内の車両乗り入れは、給食搬入や来客用の車両動線は西側道路側に限定し、災害時等は北側グラウンドや南側広場への乗り入れ可能な計画とし、歩車分離に配慮します。

##### (2) 「地域連携/地域防災」の拠点となるプロムナード

- 西側自主管理歩道と東側出井川緑道をつなぐ「プロムナード」を計画し、日常のふれあいの場とします。
- 交流テラス（一部ピロティ空間）を設け、子供たちや地域の活動に加え、災害時に利用しやすい計画とします。
- プロムナードを中心にダンススタジオとしても利用できる武道場や、ものづくりの拠点として地域利用も可能な家庭科室/技術室が隣接します。

##### (3) 「地域の魅力」を高める環境整備

- 出井川緑道、敷地西側の並木道、プロムナードを緑の景観でつなぐ計画とします。
- 周辺住宅に調和する低層型ボリュームとします。



災害時やイベント時開催時はグラウンドに乗り入れ可能な計画とします。

**グラウンド**  
北側に成型のグラウンドを整備します。

**敷地外周の緑化**  
敷地外周を積極的に緑化し、周辺との調和を図ります。

**児童/生徒 入口**  
児童生徒の入口は上下階で分け、明確な計画とします。

**プロムナード/交流テラス**  
地域の活動や、災害時の防災広場として利用しやすい計画とします。

**あいキッズ/放課後子ども教室**  
児童の入口を明確に分けた計画とします。

通常の車両動線は西側に限定し、歩車分離に配慮します。

**森の広場**  
児童の利用しやすい広場を整備します。

## 【平面計画(ゾーニング/動線)】

### ■ゾーニング計画の考え方

(1) 小中をつなぐ「本の森」学校図書館

- ・各フロアからアクセスしやすい3階中央部にメディアセンターを計画します。
- ・いつでも本に触れるオープンな図書館を計画します。

(2) インクルーシブ教育への展開

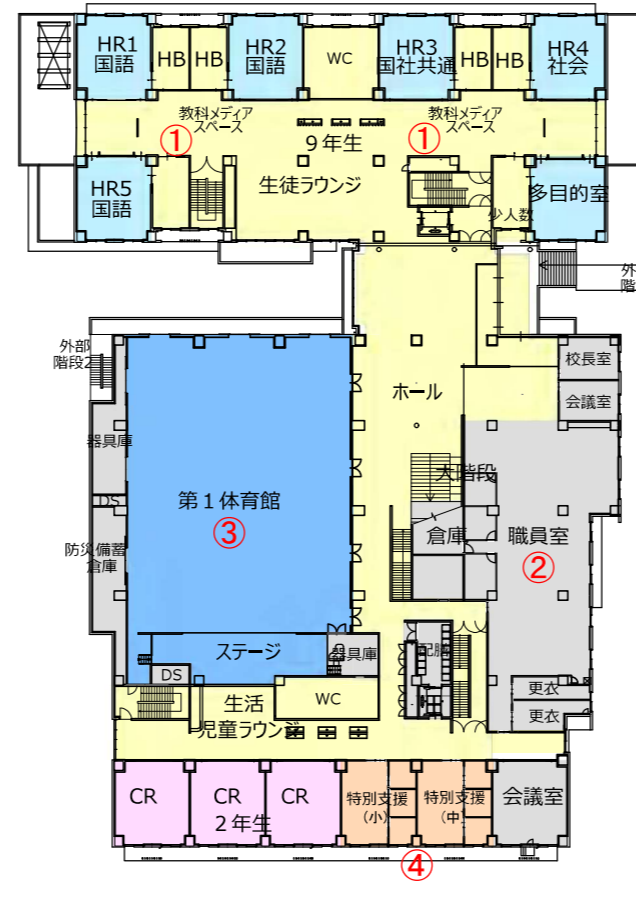
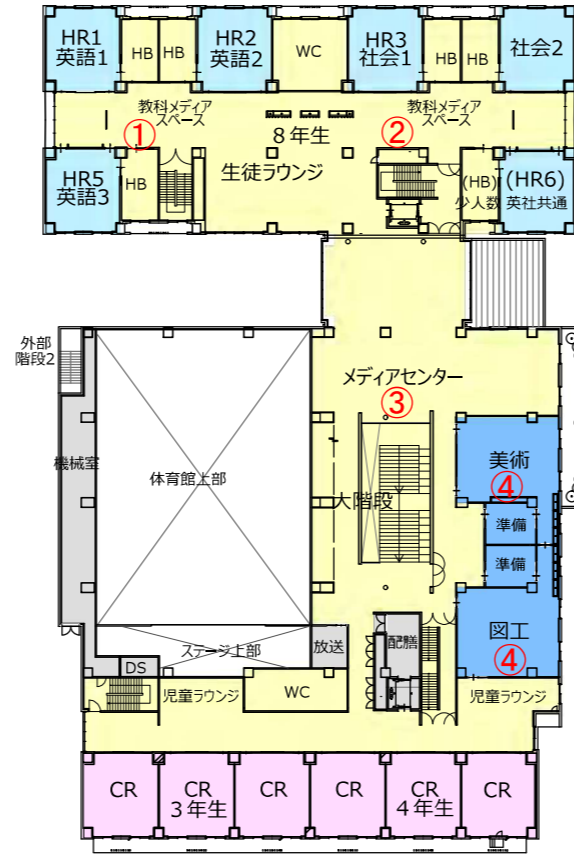
- ・異学年や地域とつながる1階に特別支援教室(固定)を配置します。
- ・オールジェンダーに配慮したトイレを計画します。

(3) 「主体的な学び」を育む教育空間

- ・学年や教科のまとまりに配慮したゾーニング計画とします。
- ・学年や教科ごとのオープンスペースを充実させた計画とします。  
(各学年や教科ごとに教師コーナーを設置)

<1F>

- ①家庭科/技術：「つくる」を知る教科メディアスペースを計画
- ②多目的ホール：地域や学びのエリアの児童生徒との交流スペース
- ③特支固定(中)：つくることやスポーツ活動を通して交流を図りやすい計画
- ④交流テラス：児童生徒の活動時はゲートを閉じて安全を確保できる計画
- ⑤あいキッズ：森の広場や体育館にアクセスしやすい計画
- ⑥小学(1)、特支固定(小)：森の広場に上足で直接出られる計画。保健室に隣接。



<3F>

- ①英語/社会：世界を知る教科メディアスペースを計画
- ②特に調べ学習と関わり大きい社会をメディアセンター上部に配置
- ③児童生徒の移動の中心にメディアセンターを配置<小中をつなぐ「本の森」いつでも本に触れるオープンな図書館>
- ④絵本のまち板橋に相応しい図書館に隣接してアートスタジオ(美術/図工)を配置



<5F>

- ①屋内プール：周囲からの視線に配慮。
- ②理科実験室：小中からアクセスしやすい位置に計画。

<2F>

- ①国語/社会：日本を知る教科メディアスペースを計画
- ②校務センター：フリーアドレス化した小中連携しやすい計画
- ③第1体育館：地域開放や災害時の避難所利用を想定式典利用できるステージを設置
- ④特支通級(小)(中)：校務センターから目の行き届き易い位置に計画



<4F>

- ①数学/理科：科学を知る教科メディアスペースを計画
- ②音楽室：小中学生が合同練習も可能な計画
- ③第2体育館：小学校高学年も利用できるスポーツ用アリーナを計画
- ④5/6/7年生を4階にまとめ、中1ギャップに配慮した計画

■凡例

- 黄色：共用部
- ピンク：児童エリア
- 水色：生徒エリア
- 青：特別教室
- 紫：あいキッズ/放課後子ども教室
- オレンジ：特別支援教室
- 緑：地域ゾーン
- グレー：管理ゾーン

# 【平面計画(ゾーニング/動線)】

## ■動線計画の考え方

### ＜児童動線＞

- 児童用昇降口は2階に設ける計画とし、近接して職員室等を配置し、目の届きやすい計画とします。
- 各学年の教室へは、昇降口から大階段を利用することで、明かな動線とします。

### ＜生徒動線＞

- 昇降口は1階に設ける計画とし、児童用動線と分ける計画とします。
- 各教科教室へは、2つの階段を利用し行き来しやすい計画とします。

### ＜教職員動線＞

- 職員室は2階に設ける計画とし、各教室にアクセスしやすい学校の中央部に配置します。
- 各教科エリアに教師コーナーを計画し、教員の活動場所を作ることで授業準備と生徒の相談対応のしやすさに配慮した計画とします。

### ＜来校者動線＞

- 来校者は2階昇降口を利用する計画とし、職員室の受付にスムーズにアクセスできる計画とします。

### ＜地域利用者動線＞

- 地域玄関は1階プロムナードに面して設け、地域開放のある室は建物中央に集約して計画します。

### ＜サービス動線1(給食)＞

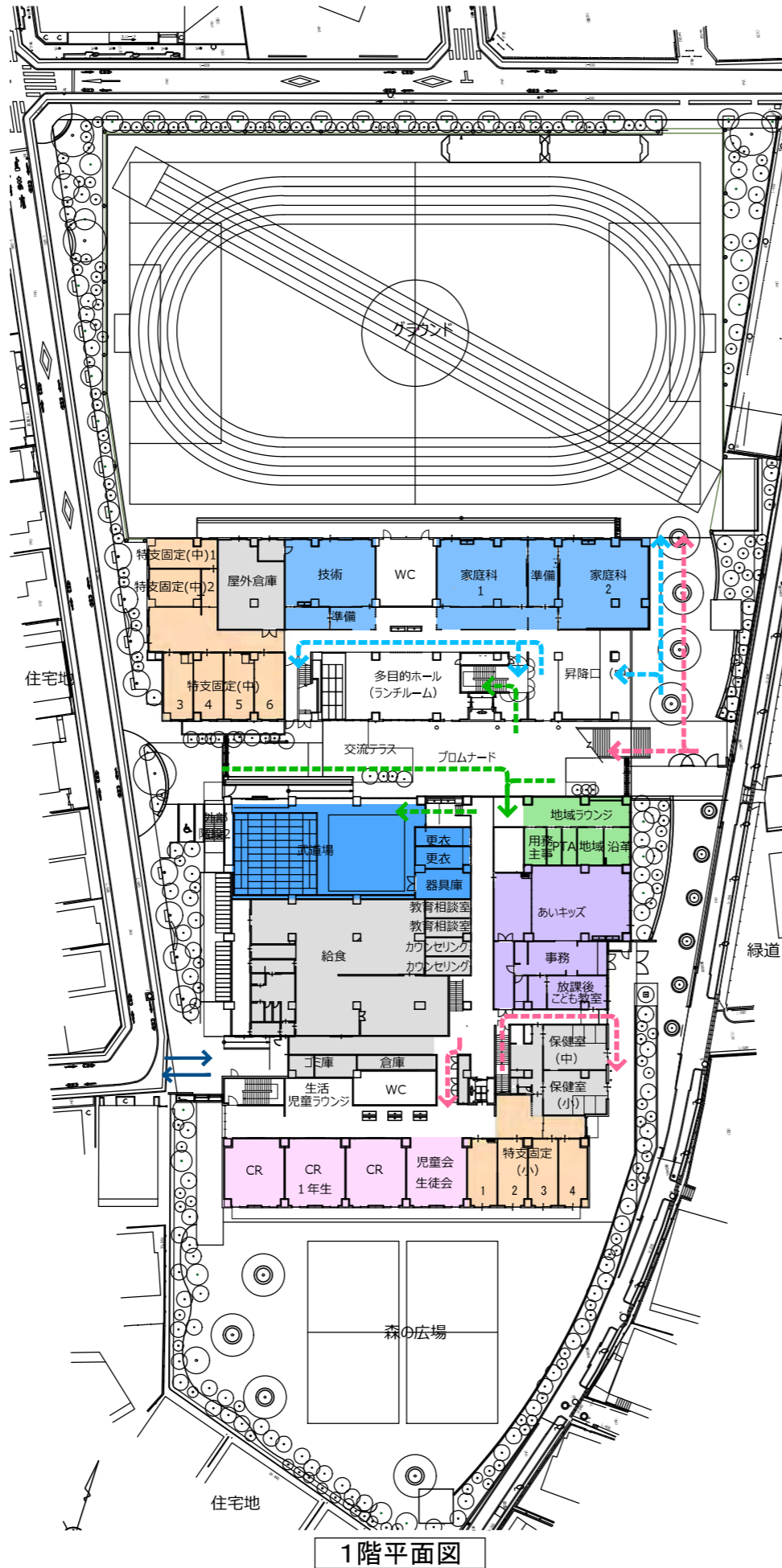
- 給食車両は敷地西側からのアクセスとし、児童生徒動線との歩車分離を図ります。
- 配膳台は職員室に近いEVを使用することで、普通教室への配膳のしやすさに配慮します。

### ＜サービス動線2(ごみ収集、備蓄)＞

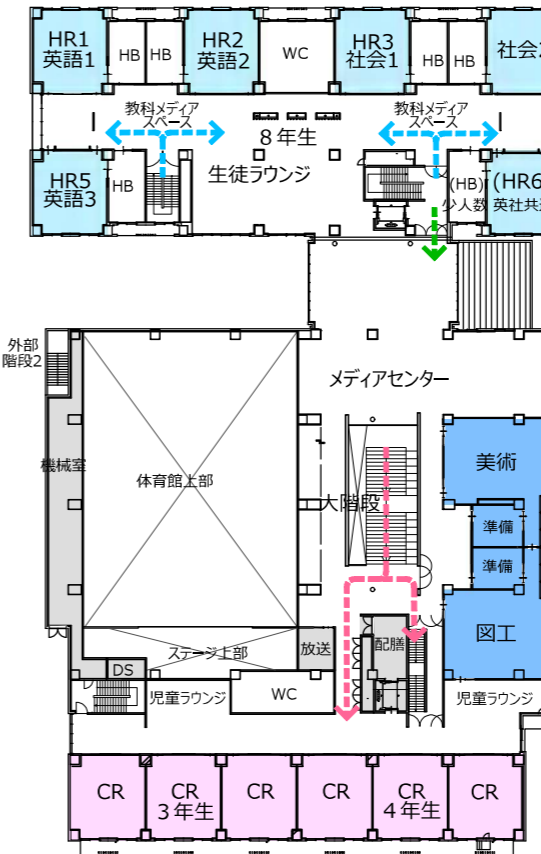
- 車両含む出入口は敷地西側からのアクセスとし、児童生徒動線との歩車分離を図ります。
- ゴミ収集等の動線は、明確に管理用の動線として分離し、児童生徒の日常利用に影響のないように配慮します。

### ■凡例

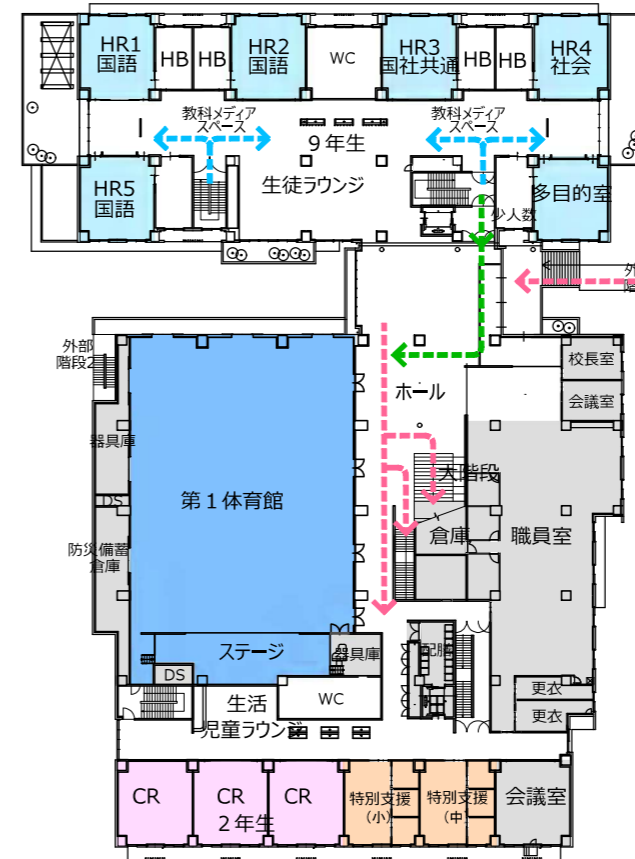
- > : 児童動線
- > : 生徒動線
- > : 地域利用者動線
- > : 車両動線



1階平面図



3階平面図



2階平面図



5階平面図



4階平面図

※今後の行政協議によっては、計画内容に変更が生じる可能性があります。



## 【立面計画・外装計画】

外装デザインの考え方

### 環境配慮【ZEB】 + 街並み形成【近隣】

#### 1 【ZEB】絞られた開口+日射抑制

- ・日射抑制
- ・断熱性向上

#### 2 【ZEB】室外機バルコニーを教室近くに設置

- ・配管ロスの低減 ⇒ BEI値 約0.05低減
- ・各階室外機バルコニーを計画

#### 3 【近隣】小さく見せるデザイン・4階建てに見せる

- ・近隣住宅地への圧迫感を抑える
- ・住宅スケールに合わせ、ボリュームを分節化するデザイン

- 北面** ホームベースとトイレ前にバルコニーを設置
- ・バルコニーでボリュームの分節化を図る
  - ・室外機目隠しスクリーンとしてルーバー+壁面緑化を設置
  - ・教室中央の内壁をホワイトボードとし、グループ学習に活用



- 西面** 開口部を極力設けない
- ・視線、騒音配慮(戸建て住宅に面する)
  - ・ボリュームを分節するデザイン

- 東面** 緑道と一体的に緑のデザイン
- ・昇降口までのアプローチ空間
  - ・2階職員室を緑のカーテンを設置
  - ・1階地域ゾーンはガラススクリーンとし、外部から活動が見える



- 南面** 教室前に水平庇兼バルコニーを設置
- ・日射遮蔽とメンテナンスバルコニーの機能
  - ・室外機目隠しスクリーンとしてルーバーを設置
  - ・教室中央の内壁をホワイトボードとし、グループ学習に活用



\*詳細な内容については変更の可能性があります

## 6. 外構計画の考え方

### 地域の魅力を高める環境整備

#### 1. 地域ブランドの魅力となる緑の景観をつくります

- ・地域の景観をつくってきた既存樹を可能な限り活かし、景観の歴史を継承します。
- ・新植する樹木は地域に根付く郷土樹種を中心に植樹します。これにより安定した生育や周辺緑地との中継地としての生物ネットワークを構築しやすい環境が生まれます。また枯れや生育不良のリスクの低減にもつながります。
- ・思い出に残る印象的な風景をつくるため花木で季節ごとの風景を演出します。
- ・低木地被類は公園などで使われる耐性が強く市場性の高いものを採用します。
- ・一般的な樹種でも毒性がある樹種、侵略的外来種は採用しない計画とします。

#### 2. 2つの並木とプロムナードと駅前通り

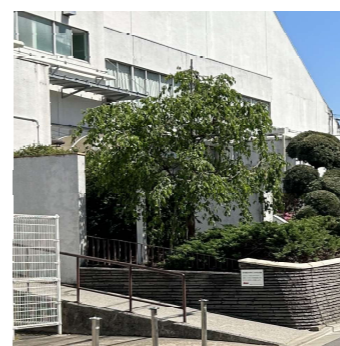
- ・敷地東西の道路沿いには、近隣に寄与するような楽しめる街路樹を選定します。東西で性格が違う樹種とすることで多様性を楽しめる外周路とします。
- ・東西近隣を繋ぐプロムナードには、四季感あふれる植栽計画とします。多種の花や紅葉など一年中違う面を見せる楽しい街路を演出します。
- ・駅前通りには、緑量豊かな歩道空間をつくります。また、防球フェンスが遠目から目立たぬよう東西両角に高木を配置します。

#### 3. 管理しやすく持続可能な植栽計画

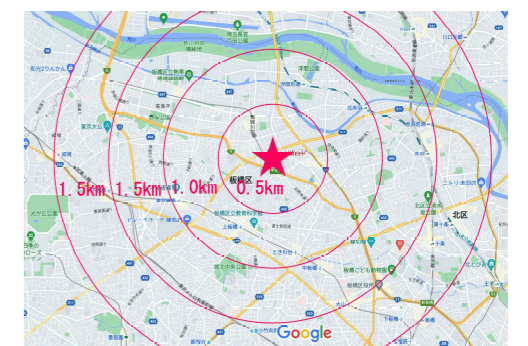
- ・生育が安定しやすい郷土樹種採用のほか、落ち葉清掃に配慮した常緑樹と落葉樹の使い分けや実がなる樹種は実が舗装に落ちないようにするなど樹木配置にも配慮します。
- ・特別な管理を要する樹種は採用しない計画とします。

#### 4. 自然に優しい舗装計画・雨水計画

- ・大部分の舗装を透水性舗装とし、雨水浸透施設とともに舗装材の透水保水の効果として、ゲリラ豪雨による雨水本管への負担軽減や蒸散、浸透による温暖化抑止効果に寄与します。



既存樹：志村四中 シダレザクラ 移植樹：志村小 タイサンボク  
\*樹木診断の結果、保全、移植ができないこともあります。



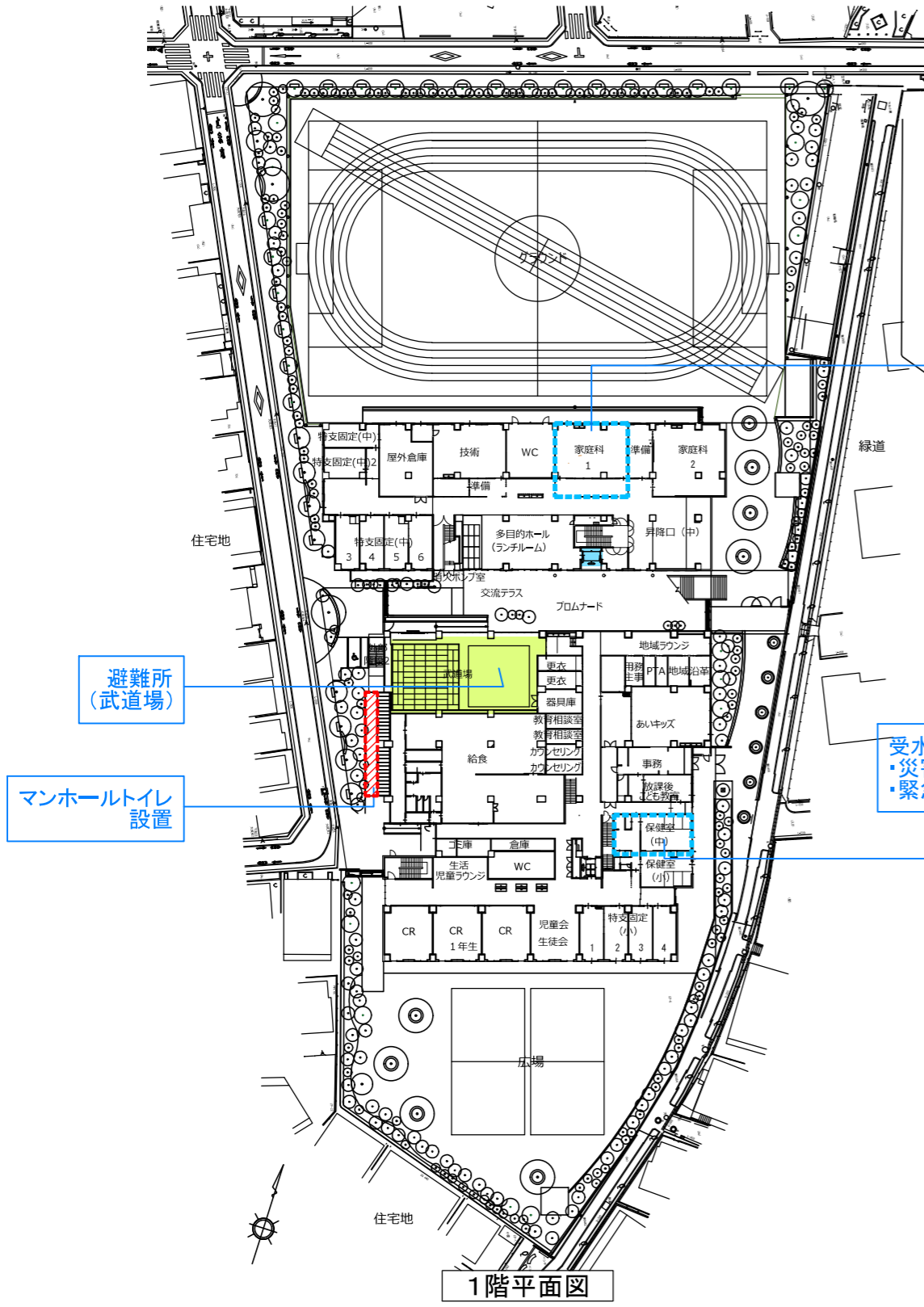
生物ネットワーク  
大きな公園などの緑地から0.5km以内に小さな緑地が点在し、これらを中継点として昆虫や野鳥の移動経路となる

# 避難所としての考え方

## 1) 基本方針

- 避難所となる学校には、避難所の機能維持（電気・給水）をインフラ途絶時に一定期間、一時収容者へ機能維持できる設備を設けます。
- 当該敷地は板橋区洪水ハザード MAP（平成28年5月改定版）により、荒川氾濫時に浸水想定範囲となっています。

- 太陽光発電パネルにより停電時に使用できる太陽光発電設備システムの自立運転コンセントを計画します。（昼間晴天時に使用可能）
- 上水道途絶時でもプール水利用により体育館の男女トイレ及びバリアフリートイレを利用できるようにすると共に、マンホールトイレへの給水可能な計画とします。
- 飲料水は、受水槽に貯留されている水を利用します。
- 災害時の避難場所として利用できる体育館(小)及び防災備蓄倉庫/職員室/受水槽/受電設備を水害時も安心な2階以上に計画します。
- 防災備蓄倉庫は避難所となる体育館に隣接して計画します。



災害時の炊き出しに利用  
(家庭科室)

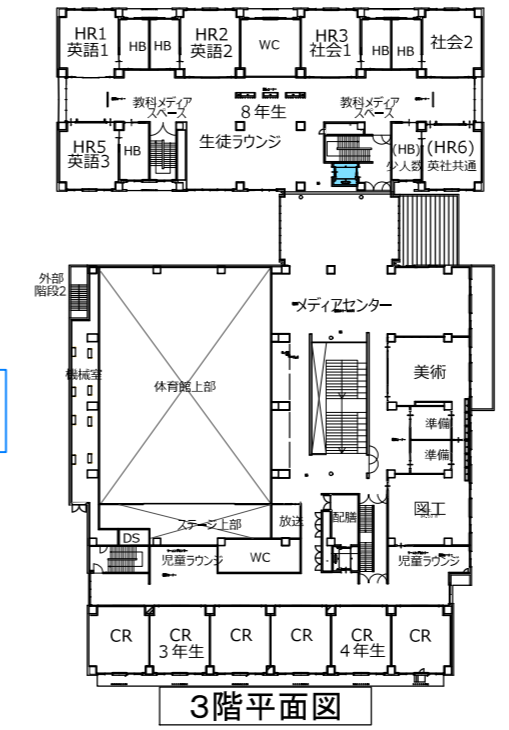
避難所  
(武道場)

マンホールトイレ  
設置

受水槽  
・災害時給水可能  
・緊急遮断水栓対応

救護対応  
(保健室(中))

避難所  
(体育館(小))

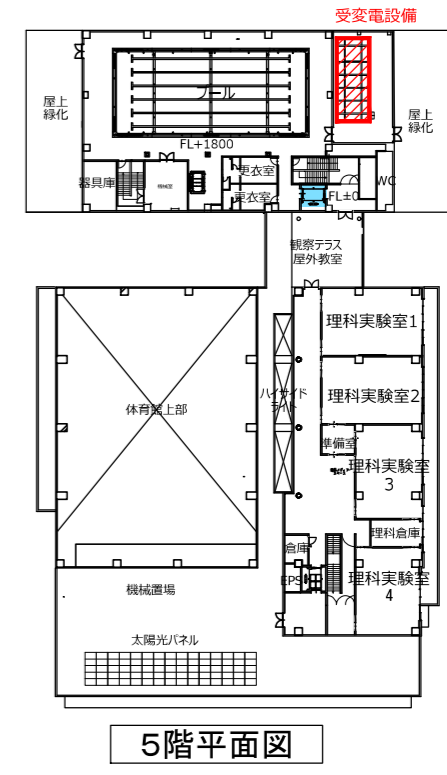


3階平面図

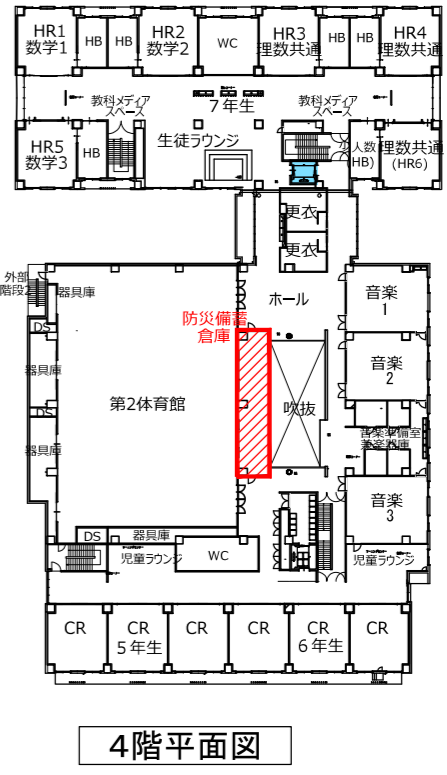


2階平面図

災害対策本部  
(会議室)



5階平面図



4階平面図

※今後の行政協議によっては、計画内容に変更が生じる可能性があります。

